

道産子新聞

音町立 共栄中学校

2年B組 16番
佐藤 花音

アイヌ民族

歴史

北海道の先住民

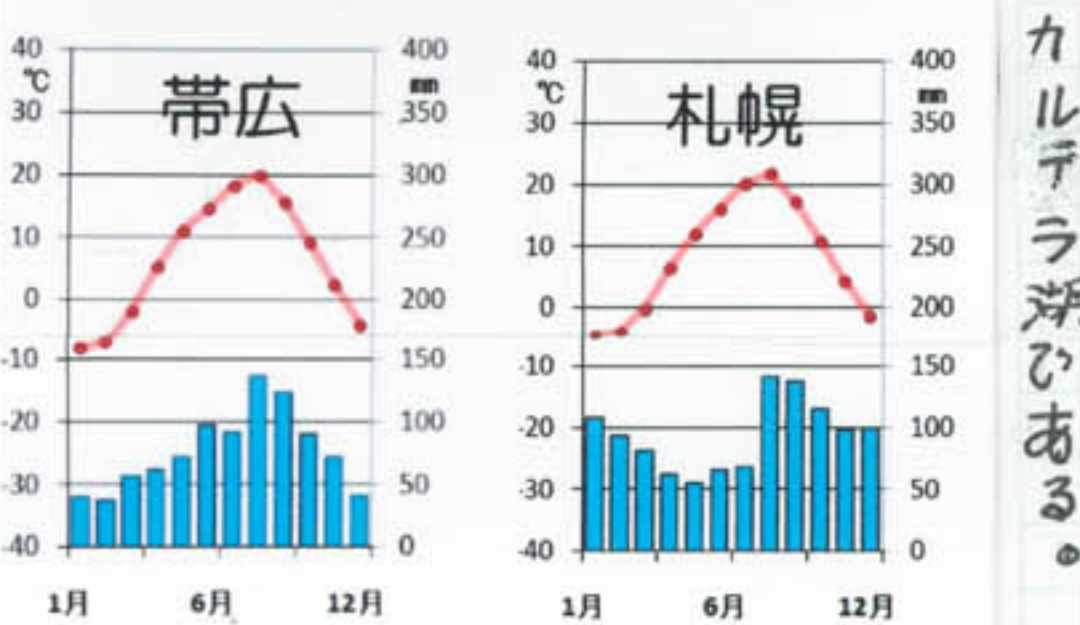
アイヌ民族は、約17世紀から19世紀に東北地方北部から北海道、サハリン、千島列島の広い範囲をアイヌモシリ(人間の住む大地)として先住していた。アイヌ文化は15世紀から成立した。アイヌの人は主に漁業や狩猟、植物採取をして暮らし、他地域の人も交易もしていた。和人一本州から渡来してきた人たちが、日本のなかで一番人数の多い人たちと区別するときの呼び名が蝦夷地(北海道)に住み始めたときは15世紀頃に居住地が東はむかわ、西は余市に広がった。明治以降に

北海道は日本の最北端に位置し、日本の総面積の約2割をしめる。気候は冷帯(亜寒帯)に属し、気温と湿度が低く、夏は過ごしやすく、冬は内陸部で約マイナス30℃まで気温が下がり、積雪も多量に見られる。四季の変化もはっきりしている。

冬は長く夏は短い。梅雨がないという特徴がある。沿岸部は海流の影響で、夏は涼しく、冬は乾燥し、ほとんど雪が降らない。中央には、日高山脈や丸見山脈など南北



に走り、西側には石狩平野と上川盆地、東側には十勝平野や根釧(こんせん)台地が広がっている。有珠山や羊蹄山のような火山も多量にあり、洞爺湖はかつての噴火によって作られた



農業

北海道は国内耕地面積の4分の1をしめる。一大農業地帯で、15万

ヘクタールの広大な農地が広がる。冷涼な気候に恵まれた北海道の農業は、稲作、畑作、酪農など大規模で土地利用型の生産性の高い農業を行っている。日本の食料基地と言われている。こん

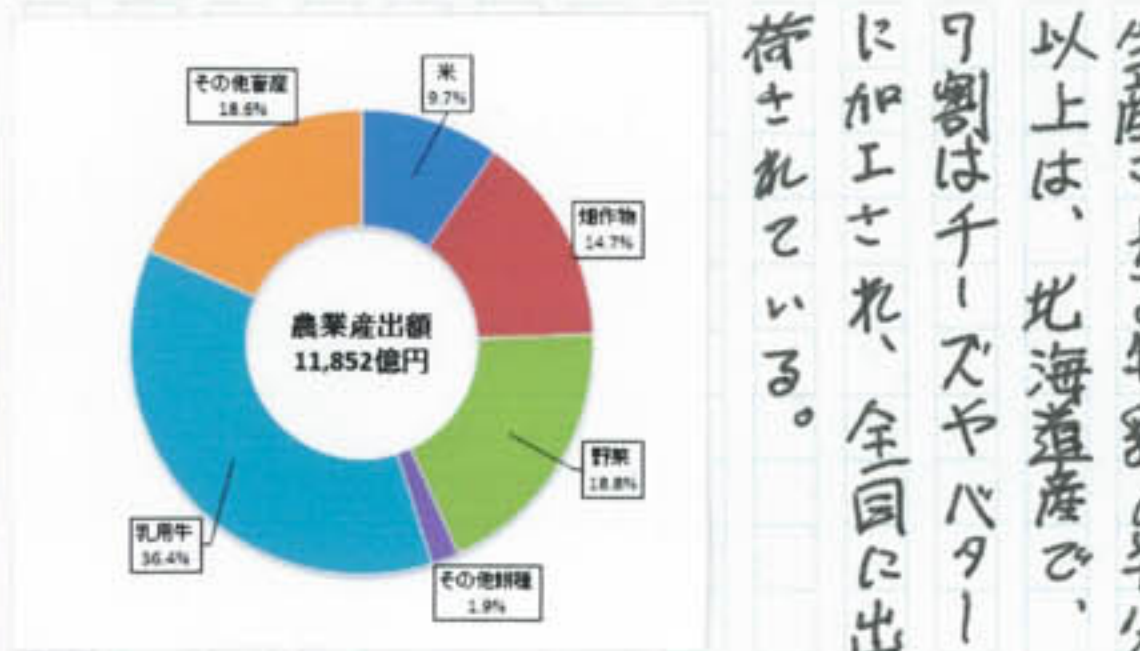


さい、あずき、じゃがいも、とうもろこし、小麦などは北海道は生産量全国一位。畑作が盛んな十勝平野は農家一戸あたりの耕作面積は那根である。大型機械を使い、作業の効率

世界遺産

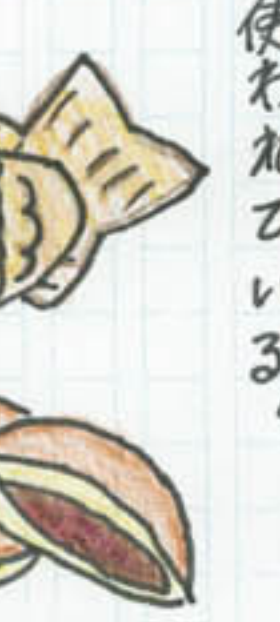
2005年7月19日にユネスコの世界遺産(自然遺産)に日本で三例目として知床が登録された。国際的希少種の、ヒグマやオホホウライ、ニッコウフクロウが生息している。五大湖などの自然や貴重な温泉を楽しむことができるとも世界中心から観光客をひきつけ

ている。このように観光業の発展は土産物店や宿泊施設のたりに上り、地域活性化にも自給環境を整えることにも繋がるため、エコツーリズムが広がっている。



編集後記

私の住んでいる北海道について、もっと知りたい、面白い調べたい、教科書や資料集にも載っていないような、その土地の歴史やそこに住んでいた人々の歴史を知り、今私の住んでいる北海道を誇りに思い、今までのよりも好きになりました。



あずき

あずきの生産量全国第一位の北海道は、例年北海道が9割、そのうち十勝が6割以上を占めている。北海道は土壌が柔らかいため、小豆の栽培に向いている。十勝は小豆の一大産地である。十勝の小豆は最高品質として、和菓子やスイーツなどに使われている。